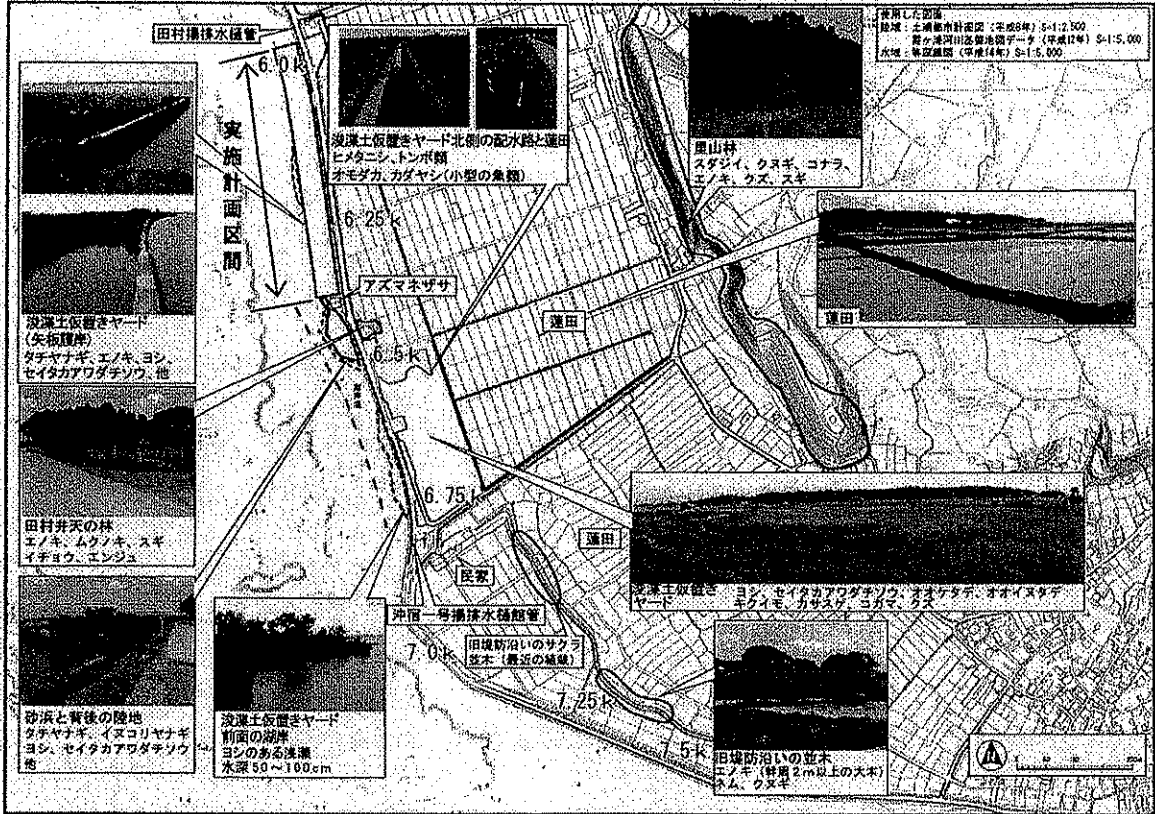


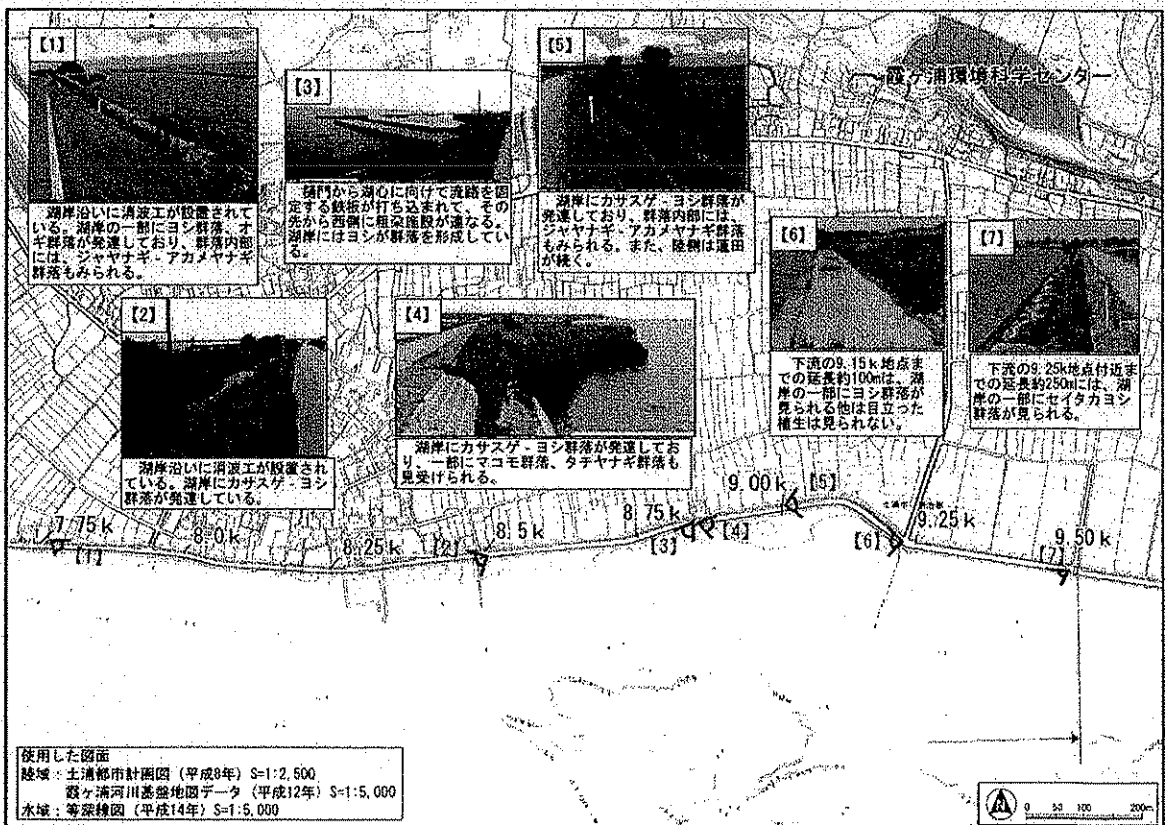
②対象となる区域およびその周辺地域の現況

対象となる区域及びその周辺の現況を下图に示す。

■田村地区の現況（写真は平成16年撮影）



■沖宿・戸崎地区の現況（写真は平成16年撮影）



対象となる区域およびその周辺地域の現況

③対象となる区域周辺の生物の生息・生育状況

対象となる区域の北側に近接し、植生が複雑かつ豊富に残っている湿地（ヨシ原）において、「河川水辺の国勢調査」が行われている。平成13年から17年にかけて行われた調査結果を下表に示す。

対象となる区域周辺の河川水辺の国勢調査結果（平成13～17年）

No.	調査項目	実施年度	調査結果概要		
			確認種数	代表的な確認種 (多く確認された種)	確認された特定種
1	魚介類	H16	魚類 (7目12科31種) エビ・カニ・貝類 (3目4科4種)	魚類：タイリクバラタナゴ、 ヌマチチブ、ブルーギル、 モツゴなど エビ・カニ・貝類：テナガエビ	魚類： タナゴ(環NT)、 アカヒレタビラ(県VI)
2	底生動物	H16	(11目13科21種)	甲殻類：イサザアミ、 アゴトゲヨコエビ 昆虫類：ユスリカ科など その他：イトミミズ科など	チリメンカワニナ(県R)、 カラスガイ(県V)、 コオイムシ(県R)
3	植物	H14	(54科224種)	植物：ヨシ、カサスゲ、 セイタカアワダチソウなど 植生群落：ヨシ群落、 タチヤナギ群落	サンショウモ(環VU)、 オオアカウキクサ(環VU)、 ヌカボタデ(環VU)、 リュウノヒゲ(環VU)、 ショウロウスゲ(環EN)
4	鳥類	H17	(11目26科52種)	オオバン、コガモ、 オオヨシキリ、カルガモ、ゴイサ ギ、ツバメなど	カンムリカイツブリ(県R)、 ヨシゴイ(県R)、 チュウサギ(環NT)、 チュウヒ(環VU)、 ハヤブサ(国内)、 ヒクイナ(県VI)、 セイタカシギ(環EN)
5	両生類 爬虫類 哺乳類	H13	両生類(1科1種) 爬虫類(4科6種) 哺乳類(6科12種)	両生類：ウシガエル 爬虫類：カナヘビ、 ミンシッピアカミミガメ 哺乳類：アカネズミ、 ハタネズミ、ジネズミなど	哺乳類： カヤネズミ(県R)
6	陸上 昆虫	H15	(89科199種)	ツトガ科、オサムシ科、 コガネムシ科、コウロギ科 など	ヤマトチビスズ(県E)、 コオイムシ(環NT)、 ハスオビアツバ(県R)

※特定種凡例一覧

- ①環境省版「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—」
 - ・環EN：絶滅危惧ⅠB類
 - ・環VU：絶滅危惧Ⅱ類
 - ・環NT：準絶滅危惧
- ②茨城県版「レッドデータブック」
 - ・県E：絶滅危惧種
 - ・県V：危急種
 - ・県R：希少種
- ③「絶滅のおそれのある野生生物の種の保存に関する法律」
 - ・国内：国内希少野生動植物種



対象地近傍の調査地点（河川水辺の国勢調査）

3) 自然再生事業の対象となる区域の特色による区分

本協議会は、「自然再生事業の対象となる区域」を、近年及び過去の植生分布、湖岸地形の特徴、湖沼管理上設置された施設の有無および湖岸の利用状況等から、次のように9区分した(基礎資料参照)。

なお、この区分は暫定的なもので、実施計画の具体的立案にあたり変更することがある。

A区間：田村地区内で、浚渫土仮置きヤード跡が占める堤外地のある区間

B区間：田村地区内で、堤内国有地(浚渫土仮置きヤード跡)のある区間

C区間：沖宿干拓地の前面で、現在無植生であり、人工浮島を設置する区間

D区間：沖宿干拓地の前面で、現在無植生であり、消波工を設置する区間

E区間：沖宿地区内で、わずかに抽水植生が残り、消波工を設置する区間

F区間：沖宿集落の前面にあたり、湿生植生が帯状に分布する区間

G区間：沖宿地区内で、ノウルシを含む自然度の高い植生が残存する区間

H区間：沖宿地区内で、一部を水田跡として利用した堤外地が分布する区間

I区間：戸崎地区内の区間(現在は無植生だが、過去には植生あり、消波工なし)

自然再生事業の対象となる区域の特色による区分

区間名 (): およその距離標	湖岸植生		施設等	湖岸の利用	地形の特徴
	近年 (H14)	過去 (S34)			
A (5.9~6.5km)	無	多	前面矢板 (堤外地浚渫土 仮置きヤード)	ワカサギ産卵場 釣り 環境学習	対象範囲より沖側に深掘れ(砂利採取跡)がある。
B (6.5~6.8km)	少	少	消波工有り (堤内地浚渫土 仮置きヤード)	釣り	
C (6.8~7.2km)	無	無	人工浮島有り	目立った利用なし	対象範囲内に深掘れ(砂利採取跡)がある。
D (7.2~7.6km)	無	少	消波工有り	目立った利用なし	対象範囲の沖側(既設消波工付近より沖側)から水深が深くなる。
E (7.6~8.0km)	少	少	消波工有り	釣り	
F (8.0~8.3km)	少	少	消波工有り (沖宿集落前面)	過去に集落の修景地 水遊び	なだらかな緩勾配地形が沖まで続く。
G (8.3~8.8km)	多	多	消波工有り	網干し 養魚池跡 環境学習	
H (8.8~9.2km)	多	多	—	釣り(多い)	
I (9.2~9.5km)	無	多	—	投網 環境学習	



採用した図面
 二海軍市計画図 (平成8年) S=1:2,500
 三海軍市計画図 (平成12年) S=1:3,000
 水域: 浸没計画図 (平成14年) S=1:5,000
 積土: 平成14年積土図
 平成14年積土図

A	5.9~8.8m(堤外地浸没ヤード前面)
B	6.8~8.8m(堤内地浸没ヤード前面、積土あり)
C	6.9~7.2m(前面浮高あり)
D	7.2~7.9m(前面浮高あり)
E	7.9~8.0m(前面一部積土、消波工あり)
F	8.0~8.3m(前面一部積土、消波工あり)
G	8.3~8.8m(前面積土、消波工あり)
H	8.8~9.2m(前面積土)
I	9.2~9.5m

本実施計画書における
 浸没土仮置きヤード区間

基本分類	積土名称	積土積土 コード
浮体積土	チチカガ島積土	0001
	アサカガ島積土	0002
	ハス積土	0003
一般積土	イヌビロ積土	0004
	ヨシ積土	0005
	カサカサ積土	0006
	カサカサ積土	0007
	カサカサ積土	0008
	カサカサ積土	0009
	カサカサ積土	0010
	カサカサ積土	0011
	カサカサ積土	0012
	カサカサ積土	0013
	カサカサ積土	0014
	カサカサ積土	0015
	カサカサ積土	0016
	カサカサ積土	0017
	カサカサ積土	0018
	カサカサ積土	0019
	カサカサ積土	0020
	カサカサ積土	0021
	カサカサ積土	0022
	カサカサ積土	0023
	カサカサ積土	0024
	カサカサ積土	0025
	カサカサ積土	0026
	カサカサ積土	0027
	カサカサ積土	0028
	カサカサ積土	0029
	カサカサ積土	0030
	カサカサ積土	0031
	カサカサ積土	0032
	カサカサ積土	0033
	カサカサ積土	0034
	カサカサ積土	0035
	カサカサ積土	0036
	カサカサ積土	0037
	カサカサ積土	0038
	カサカサ積土	0039
	カサカサ積土	0040
	カサカサ積土	0041
	カサカサ積土	0042
	カサカサ積土	0043
	カサカサ積土	0044
	カサカサ積土	0045
	カサカサ積土	0046
	カサカサ積土	0047
	カサカサ積土	0048
	カサカサ積土	0049
	カサカサ積土	0050
	カサカサ積土	0051
	カサカサ積土	0052
	カサカサ積土	0053
	カサカサ積土	0054
	カサカサ積土	0055
	カサカサ積土	0056
	カサカサ積土	0057
	カサカサ積土	0058
	カサカサ積土	0059
	カサカサ積土	0060
	カサカサ積土	0061
	カサカサ積土	0062
	カサカサ積土	0063
	カサカサ積土	0064
	カサカサ積土	0065
	カサカサ積土	0066
	カサカサ積土	0067
	カサカサ積土	0068
	カサカサ積土	0069
	カサカサ積土	0070
	カサカサ積土	0071
	カサカサ積土	0072
	カサカサ積土	0073
	カサカサ積土	0074
	カサカサ積土	0075
	カサカサ積土	0076
	カサカサ積土	0077
	カサカサ積土	0078
	カサカサ積土	0079
	カサカサ積土	0080
	カサカサ積土	0081
	カサカサ積土	0082
	カサカサ積土	0083
	カサカサ積土	0084
	カサカサ積土	0085
	カサカサ積土	0086
	カサカサ積土	0087
	カサカサ積土	0088
	カサカサ積土	0089
	カサカサ積土	0090
	カサカサ積土	0091
	カサカサ積土	0092
	カサカサ積土	0093
	カサカサ積土	0094
	カサカサ積土	0095
	カサカサ積土	0096
	カサカサ積土	0097
	カサカサ積土	0098
	カサカサ積土	0099
	カサカサ積土	0100

昭和34年港沼積土情報凡例
 積土積土 0001
 積土積土 0002
 積土積土 0003
 積土積土 0004
 積土積土 0005
 積土積土 0006
 積土積土 0007
 積土積土 0008
 積土積土 0009
 積土積土 0010
 積土積土 0011
 積土積土 0012
 積土積土 0013
 積土積土 0014
 積土積土 0015
 積土積土 0016
 積土積土 0017
 積土積土 0018
 積土積土 0019
 積土積土 0020
 積土積土 0021
 積土積土 0022
 積土積土 0023
 積土積土 0024
 積土積土 0025
 積土積土 0026
 積土積土 0027
 積土積土 0028
 積土積土 0029
 積土積土 0030
 積土積土 0031
 積土積土 0032
 積土積土 0033
 積土積土 0034
 積土積土 0035
 積土積土 0036
 積土積土 0037
 積土積土 0038
 積土積土 0039
 積土積土 0040
 積土積土 0041
 積土積土 0042
 積土積土 0043
 積土積土 0044
 積土積土 0045
 積土積土 0046
 積土積土 0047
 積土積土 0048
 積土積土 0049
 積土積土 0050
 積土積土 0051
 積土積土 0052
 積土積土 0053
 積土積土 0054
 積土積土 0055
 積土積土 0056
 積土積土 0057
 積土積土 0058
 積土積土 0059
 積土積土 0060
 積土積土 0061
 積土積土 0062
 積土積土 0063
 積土積土 0064
 積土積土 0065
 積土積土 0066
 積土積土 0067
 積土積土 0068
 積土積土 0069
 積土積土 0070
 積土積土 0071
 積土積土 0072
 積土積土 0073
 積土積土 0074
 積土積土 0075
 積土積土 0076
 積土積土 0077
 積土積土 0078
 積土積土 0079
 積土積土 0080
 積土積土 0081
 積土積土 0082
 積土積土 0083
 積土積土 0084
 積土積土 0085
 積土積土 0086
 積土積土 0087
 積土積土 0088
 積土積土 0089
 積土積土 0090
 積土積土 0091
 積土積土 0092
 積土積土 0093
 積土積土 0094
 積土積土 0095
 積土積土 0096
 積土積土 0097
 積土積土 0098
 積土積土 0099
 積土積土 0100

対象区域の区間区分

(2) 自然再生事業の内容

1) 本事業の対象とする区間

本事業は、国土交通省霞ヶ浦河川事務所が設置する浚渫土仮置きヤード跡を中心とするA区間（西浦中岸5.9km～6.5kmにわたる堤外地）において実施する。（P8：区間区分図参照）

2) A区間の現状と変遷

① A区間の現状

A区間は西浦中岸5.9kmの田村揚排水樋管から同6.5kmポストまで、延長約600mにわたる湖岸である（P10：A区間現況図）。

北西端の樋管から約50mの堤外は開水面、続く430mは浚渫土仮置きヤード跡（幅約40m、面積約17200㎡）、残り約120mは古くから残る堤外湿地（最大幅訳45m、面積約2800㎡）となっている。堤外地の湖面からの比高は-1m～+2.5m程度で、増水により湖面が0.3m以上上昇すると堤外地の80%程度が冠水する。

よってA区間は相観から次のように3分することができる。

○開水面区域：

平水時の堤外は、樋管を基点に約50mの区間で、開水面であるが、湖水位が30cm程度低下すると一部の湖底が裸出し、イヌビエその他の一年草群落が形成されることがある。

○ヤード跡区域：

浚渫土仮置きヤード跡は、平場に接する堤外地を長方形（40m×430m）に鋼矢板列で囲んだもので、その内部はほとんど比高0.1～1.2mまで浚渫土で埋まっている。土質は粘土まじりシルトから細砂で雨水が溜まりやすい。

ヤード跡は植生から4区分することができる。

- ・湛水域：ヤードの北西端部は湖水面以下の凹地となるため常時湛水し、ヨシ・ヒメガマ・カンガレイなどの小さな群落があり、コイなどが見られる。
- ・ヤナギ林域：ヤード内の主要部は風散布種子から発芽したタチヤナギを主とするヤナギ林の景観を呈している。被陰と冠水により下草層の発達は不良で、春型の耕地雑草などが散在するにすぎない。ただし林縁には少数株のジョウロウスゲがある。
- ・路傍雑草域：ヤード内の微高地と堤防側縁辺はセイタカアワダチソウ、カナムグラまたはイシミカワを主とする多年草群落域となっており、路傍や畑の雑草が多い。
- ・笹塚域：ヤード跡の南端ヤードには盛り土による比高4mほどの塚があり、アズマネザサで覆われている。塚はフェンスで囲まれ施錠されている。

○在来湿地区域：

ヤード敷地とならなかったA区間南端部に残る旧来からの湖岸湿地（面積約2800㎡）は、湖面からの比高は0～1.5m、カササゲ、ドクゼリ、シロネ、オギといった湿地の植物のほか、微高地にはクリの独立樹も見られる。

